

A 基本事項を確かめる

基礎 | 全8問 | 目安7分 | 16点

記述は解答例と同じ言葉でなくても、必要な内容と条件を満たせば正答です。

A1 品詞〔2点〕

答え 副詞

解説 動詞「昇る」を修飾する、活用しない自立語。

採点 正答2点。

A2 品詞〔2点〕

答え 形容動詞

解説 終止形は「静かだ」。「静かに」は連用形。

採点 正答2点。

A3 文の成分〔2点〕

答え 独立語

解説 応答を表し、主語・述語・修飾語などと直接結び付かない。

採点 正答2点。

A4 動詞の活用の種類〔2点〕

答え 上一段活用

解説 「起きない・起きます・起きる」と変化し、活用語尾にイ段の音が現れる。

採点 正答2点。「力行上一段活用」も可。

A5 動詞の活用形〔2点〕

答え 仮定形

解説 「ば」につながる「曲がれ」は仮定形。命令の「曲がれ」と同じ形でも、文中の働きで分ける。

採点 正答2点。

A 基本事項を確かめる

基礎 | 全8問 | 目安7分 | 16点 | つづき

A6 形容詞の活用〔2点〕

答え 連用形

解説 「強かつ」は過去の助動詞「た」に続く、形容詞の連用形。

採点 正答2点。

A7 助詞の種類〔2点〕

答え 格助詞

解説 「が」は「鳥」を主語として示す。

採点 正答2点。

A8 敬語〔2点〕

答え 尊敬語

解説 「いる」などの動作をする先生を立てる。

採点 正答2点。

B 形と働きを比べる

標準 | 全8問 | 目安11分 | 24点

B1 動詞の活用の種類〔3点〕

答え 走る：五段活用／見る：上一段活用／食べる：下一段活用

解説 「走らない・見ない・食べない」にして、未然形の変化を比べる。

採点 各1点。

B2 活用の見分け〔3点〕

答え 帰る：帰ら／変える：変え／活用の種類は異なる

解説 「帰る」は五段、「変える」は下一段。終止形の末尾だけでは区別できない。

別解・許容 「帰らない・変えない」の形で書いても、未然形が明確なら各1点。

採点 各形1点、異なる1点。

B 形と働きを比べる

標準 | 全8問 | 目安11分 | 24点 | つづき

B3 連体詞と形容動詞〔3点〕

答え 大きな：連体詞／静かな：形容動詞／活用するのは「静かな」

解説 「大きな」は活用しない。「静かな」は「静かだ・静かに」などに活用する。

採点 各品詞1点、活用する語1点。

B4 ないの識別〔3点〕

答え 前：形容詞／後：助動詞／付属語は後

解説 前は存在しないことを表す自立語。後は動詞「読む」の未然形に付き、打消しを表す。

採点 各品詞1点、後1点。

B5 そうだの識別〔3点〕

答え 前：様態／後：伝聞

解説 「降りそうだ」は空の様子からの判断。「降るそうだ」は予報から得た情報。

採点 両方正答で3点。片方のみは0点。

B6 られるの意味〔3点〕

答え エ

解説 「歩いて来られる」は、来ることができるという可能。アとウは受け身、イは自発。

採点 正答3点。

B7 修飾関係〔3点〕

答え 遊ぶ／連用修飾

解説 どこで、どのように遊ぶかをそれぞれ表す。動詞を修飾している。

別解・許容 「遊ぶ。」も可。

採点 「遊ぶ」1点、連用修飾2点。

B 形と働きを比べる

標準 | 全8問 | 目安11分 | 24点 | つづき

B8 敬語の使い分け〔3点〕

答え 拝見しました／「拝見する」は謙譲語

解説 見るのは生徒。自分側の動作をへりくだって、作品に関わる先生を立てる。「ました」には丁寧語も含まれる。

別解・許容 「謙譲語。『ました』は丁寧語」とする答えも可。

採点 正しい書換え2点、謙譲語1点。

C 判断の根拠を説明する

発展・応用 | 全8問 | 目安16分 | 32点

C1 形容詞とない〔4点〕

答え 連用形。「美しく」は形容詞「美しい」の活用形であり、後ろの「ない」は動詞の未然形に付く打消しの助動詞ではなく、形容詞を打ち消す補助形容詞だから。

解説 学校文法では「美しくない」の「ない」を、形容詞の補助的な用法として扱う。

別解・許容 「美しく」が形容詞の連用形で、「ない」はそれを打ち消す形容詞として使われる、と説明しても可。

採点 連用形2点、「美しく」が形容詞の形で、後ろの「ない」がその内容を打ち消す補助形容詞である説明2点。

C2 形容動詞と断定〔4点〕

答え 「静かだ」は全体で一語の形容動詞。「図書室だ」は名詞「図書室」に、断定の助動詞「だ」が付いたもの。

解説 「だ」で終わるという見た目だけで品詞を決めない。前の部分が名詞か、形容動詞の語幹かを見る。

採点 一語の形容動詞2点、名詞に付いた断定の助動詞2点。「一語」「名詞」の指定語は該当する内容点に含める。

C 判断の根拠を説明する

発展・応用 | 全8問 | 目安16分 | 32点 | つづき

C3 受け身と尊敬〔4点〕

答え 前の文の主語「先生」は、ほめる動作をする側。後の文の主語「私」は、ほめる動作を受ける側。

解説 尊敬では主語の動作を高め、受け身では主語が他から動作を受ける。

採点 前2点、後2点。

C4 自発の識別〔4点〕

答え 自発／自然と

解説 意志でしようとしなくても、思い出が心に浮かぶ意味。

別解・許容 「自然と思い出される」も、手がかりを含む抜き出しとして可。

採点 自発2点、「自然と」2点。

C5 敬語の誤用訂正〔4点〕

答え 先生が私の作文をご覧になりました。見る動作をする人は先生なので、先生を立てる尊敬語にする必要があるから。

解説 「拝見する」は自分側の見る動作の謙譲語。

別解・許容 「先生が私の作文をお読みになりました。」は意味が「見る」から「読む」に変わるため、この問では原則不可。「見られました」は文脈に合う尊敬表現として可。

採点 適切な尊敬語での書換え2点、動作主が先生で尊敬語を使う説明2点。

C6 敬語の働き〔4点〕

答え 先生。尊敬語は、話題になっている動作をする人を立てるため、会話の聞き手でない先生にも使える。

解説 この文では聞き手は友達、図書室にいる人は先生。敬意の対象と会話の聞き手を区別する。

採点 先生2点、話題の動作主を立てるため聞き手でなくても使える説明2点。

C 判断の根拠を説明する

発展・応用 | 全8問 | 目安16分 | 32点 | つづき

C7 格助詞の働き〔4点〕

答え 前の「の」は「妹」を「描いた」の主語として示す。後の「の」は「妹」が「絵」を修飾する関係を示す。

解説 前は「妹が描いた」と言い換えられる。後は絵が誰のものを示す。

採点 前の主語の働き2点、後の修飾の働き2点。指定語は該当する内容点に含める。

C8 接続と意味の識別〔4点〕

答え 前：重／後：重い／伝聞は後の文

解説 様態は形容詞の語幹に付き、伝聞は終止形に付く。直前の形と文脈の両方を見る。

別解・許容 「重（おも）」も可。前を「重そう」とする答えは不可。

採点 「重」1点、「重い」1点、後の文2点。

D 文章の中で総合確認

入試・定期テスト対策 | 全8問 | 目安16分 | 28点

D1 文節〔3点〕

答え 私たちは／先週、／地域の／資料館を／訪れた。

解説 自立語に助詞・助動詞を付けたまとまりで区切る。句読点だけを独立させない。

採点 4か所をすべて正しく区切って3点。区切りの不足または余分が1か所なら1点、2か所以上なら0点。

D2 動詞の活用〔3点〕

答え 下一段活用／連用形

解説 「訪れる」は「訪れない・訪れます」と活用する。「た」につながる「訪れ」は連用形。

採点 下一段活用1点、連用形2点。「ラ行下一段活用」も可。

D3 形容動詞の活用〔3点〕

答え 形容動詞／連体形

解説 「静かだ」の連体形「静かな」が、名詞「部屋」を修飾する。

採点 形容動詞1点、連体形2点。

D 文章の中で総合確認

入試・定期テスト対策 | 全8問 | 目安16分 | 28点 | つづき

D4 ないの識別 (3点)

答え 形容詞／存在しないこと

解説 「橋がない」という意味で、自立語の形容詞。動詞に付いて動作を打ち消す助動詞ではない。

採点 形容詞2点、存在しないこと1点。

D5 敬語と人物関係 (4点)

答え 動作をする人：私（生徒）／話を聞く相手：館長さん／謙譲語

解説 自分の聞く動作をへりくだって、話を聞く相手の館長さんを立てる。

採点 生徒1点、館長さん1点、謙譲語2点。

D6 主述の照応 (4点)

答え 調べることです

解説 「私の目標は～ことです」と、目標の内容を示す名詞相当の形で結ぶ。

別解・許容 「調べることだ」「調べることにあります」も可。「調べる」だけでは文が十分に整わない。

採点 内容を維持し、主述が対応する形で4点。

D7 助詞の種類と働き (4点)

答え 副助詞。古い写真だけでなく、昔の道具も展示されているという、追加の意味が加わる。

解説 直前に「古い写真に加えて」とあり、「も」の添加の働きが文脈から確かめられる。

別解・許容 「取り立て助詞」など、学習する教科書の分類名が異なる場合は指導者が扱いを調整する。本文は副助詞の分類を用いる。

採点 副助詞2点、古い写真に昔の道具を加える意味の説明2点。

D8 助動詞の文脈判断 (4点)

答え 館長さんが説明する動作をする側であり、誰かから説明される側ではないから。

解説 写真を示して説明しているのは館長さん本人。その動作を高める尊敬の用法。

採点 館長さんが説明する動作主であること2点、説明を受ける側ではないこと2点。指定語は該当する内容点に含める。